

当社の全ての社用リース車のハイブリッド化について ～温室効果ガス削減に向けハイブリッド車1,800台を導入～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、世界的な温室効果ガスの排出削減の動きを受け、2021年4月から約3年間にわたり、業務用の社用リース車を全てハイブリッド車に切り替え、約1,800台を導入します。

当社は環境保護に向けた取組みや、ESG投融資を通じた持続可能な社会の実現への貢献の推進に加え、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同するなど、気候変動をはじめとする社会課題の解決に取り組んでいます。

これらの取組みの一環として、このたび温室効果ガスのさらなる削減に向け、当社では保有する全ての社用リース車をハイブリッド車へ切り替えます。

当社は、「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、お客さま、地域社会、働く仲間との絆を大切に、企業ビジョン「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」の実現をめざしています。これは、「持続可能な社会の実現」を目的としたSDGsの理念とも軌を一にするものと考えており、気候変動をはじめとする社会課題の解決やSDGsの達成、そして持続可能な社会の実現に向けて、これからも貢献していきます。

■社用リース車のハイブリッド車導入について

1. 概要

- ・2021年4月から営業活動等に携わる職員が利用する社用リース車として、ハイブリッド車を順次導入
- ・2021年度上半期に520台、2023年度までに合計1,800台を導入予定

2. 導入の目的

- ・環境に配慮したハイブリッド車への切り替えにより、自然環境負荷をさらに軽減
- ・GPS機能を用いた運行記録の自動管理により、事務の業務効率化を推進
- ・リース車全車両への衝突事故軽減ブレーキ、およびドライブレコーダー等の設置に加え、リース会社による定期的な車両メンテナンスの実施により安全管理を強化

3. 今後について

- ・リース期間の更新を迎える5年後（2026年度）以降にはEV化するなど、より環境性の高い車種への見直しを検討